ごてんばの富士山豆博士事業

環境課☎ (83)1603

ごてんばの富士山豆博士事業の概要

富士山及び富士山麓の豊かな自然に触れ親しむことで、新しい発見をし、一人ひとりが「ごてんばの富士山豆博士」になることを目的とした事業です。各学校の特徴や地域性を生かして取り組むことにより、児童・生徒が身近な富士山の素晴らしさを再認識します。

また、この事業は富士山の豊かな自然と恵みを後世に継承するための「富士山基金」の一部を活用しています。

平成18年度から事業を開始し、平成22年度から平成25年度までの4年間を第2期として継続実施しています。平成25年度は522人の富士山豆博士が誕生し、これまでに5,255人の富士山豆博士が誕生しました。

今後は、平成26年度から平成29年度までを第3期とし、次年度は、神山小学校、高根小学校、御殿場中学校、南中学校で実施予定です。

▲富士岡中学校

▲東小学校

▲玉穂小学校

▲原里小学校

豆博士

各学校の取り組み

東小学校

6年生65人が取り組みました。

調べ学習

日頃から疑問に思っていることを新聞やインターネットで情報収集しました。情報収集を通じて富士山に対する関心が高まりました。

フィールドワーク

山梨県富士河口湖町にある富士ビジターセンター、印野御胎内、忍野八海等でフィールドワークを実施し、富士山レンジャーや自然解説員から富士山の成り立ちや富士山特有の自然現象について講義を受けました。

個人レポートの作成と発表会

調べ学習やフィールドワークで学んだことを個人レポートとしてまとめ、互いの成果を発表しました。

作成したレポートは校内掲示物や行事等の場面で校内、保護者、地域の皆さん等へ公表しました。

原里小学校

5年生136人が取り組みました。

富士山散策

富士山須走口から6合目付近までフィールドワークを実施しました。植物の生態や溶岩の様子を観察し、今まで知らなかった富士山の素晴らしさを体験することができました。

富士山について語ろう

自然ガイド組織やまぼうしの米山千晴氏を招き、富士山の歴史や自然について講義を受けました。富士山散策後は勉強会を開き、水資源や森林限界の状況について質疑応答を行いました。また、今後どのように富士山を大切にしていくのかを宣言しました。

リーフレット作り

地域や全国の人に向けて、富士山を守ろうという思いをメッセージに込め、富士山の素晴らしさや抱えている問題点をリーフレットにまとめました。

玉穂小学校

6年生86人が取り組みました。

富士山自然学習

自然ガイド組織やまぼうしの米山千晴氏を招き、富士山の歴史や他の山との違い等を学習しました。

富士山自然教室と組み体操

やまぼうしのガイドと一緒に、須走口5合目から新6合目まで登山しました。溶岩棚や「富士山のグランドキャニオン」など自然が作り出した景観やフジハタザオなどの珍しい高山植物を観察しました。

運動会では「富士に学ぶ」と題して、富士山に関する動植物などをイメージした組み体操の技を披露しました。

調べ学習と発表会

富士山の「自然」、「歴史」、「人とのかかわり」、「未来への展望」のテーマに分かれて、調べ学習をしました。

調べた内容を模造紙にまとめたり紙芝居で表現したりし、学習発表会で発表しました。

富士岡中学校

1年生235人が取り組みました。

自然教室

○樹海ガイドツアー

インストラクターの案内で鳴沢氷穴や樹海を散策しました。

氷穴では洞窟内の気温の低さや大きな天然の氷柱（つらら）などの発見がありました。樹海の成り立ちを学び、溶岩の流れた境界による植物の違いや磁気を帯びた石などを観察しました。

○富士山環境整備活動

河口湖畔のゴミ拾いと外来植物のアレチウリの駆除を目的とした環境整備活動に参加し、山梨県内外から集まった人たちと協力して湖畔をきれいにしました。

○展示発表

活動について新聞形式でまとめ、文化祭で展示発表しました。

富士山写真展

早朝や夕方など撮影時間を工夫して自宅付近や旅行先で撮影した富士山の写真を持ち寄り、夏と冬の2回、写真展を開催しました。